

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

2010年 3月 9日

メディア関係各位

明治学院チャペル 日本初“失われた歴史的工法”によるオルガン完成 オールトメルセン オルガン演奏会へのご招待

明治学院白金チャペルのオルガン設置にともない、今年1月、メディアの方々にレクチャーコンサートのご案内をいたしました。あいにく新しい設置場所や乾燥厳しい季節におけるオルガンの微細な調整の必要などにより延期とさせていただきます。皆様には多大なご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

その後、オルガンビルダーのファン・エーケン氏による最終調整を経て、ようやく、万全の態勢が整うことになりました。これを期して、初の公開演奏会を下記のとおり開催することといたしました。皆様にも新オルガンの真価をご認識いただきたく、ここにご招待申し上げます。

演奏いたしますジャック・ファン・オールトメルセン氏は、世界的に著名なオルガニストであるとともに、オルガンコンサルタントとして、このオルガンがオランダの工房で製作されていた当時から、整音などのデリケートな作業の確認にも携わってきた方です。

今回は公開コンサートへのご招待とさせていただきます。取材につきましては個別に対応させていただきますので、ご希望をお聞かせいただきたく存じます。なお、ご来場にあたりましては、添付の申込書にて事前の申込みをいただきます。お申込み多数の場合は、締め切らせていただくこととございますのでお早目にお申込みください。

明治学院オルガン完成 オールトメルセン オルガン演奏会

日 時： 2010年 3月 25日(木) 開場 17時 30分 開演 18時 30分

場 所： 明治学院白金チャペル

曲 目： プレリユード、フーガとポストリユード ト短調 (G. ベーム)

プレリユードとフーガ ハ長調 (J. S. バッハ)

ソナタ第2番 ハ短調 (F. メンデルスゾーン=バルトルディ)

ファータ モルガーナ (J. v. オールトメルセン) 他

お申込み： 申込用紙をご記入の上、当広報室まで Fax もしくは E-Mail にてお送りください。

締 切： 3月 17日(水)

お問合せ： 明治学院大学広報室 Tel 03-5421-5165 Fax 03-5421-5185 koho@mguad.meijigakuin.ac.jp

●明治学院白金チャペル 新オルガンについて

キリスト教系学校として来る 2013 年には 150 周年を迎える明治学院では、早くも 1966 年にはチャペルにパイプオルガンを有していました。しかし 1990 年代後半に不具合が目立ち始めたため、新しいオルガンについて検討を開始。その後、実に 10 年以上という歳月を経て完成したのが、オランダのオルガンビルダー、ヘンク・ファン・エーケン氏が手掛けた“失われた歴史的工法”による 2045 本のパイプ、2 段の手鍵盤と足鍵盤、6 つの鞞(ふいご)で構成され、木質部分はすべて無垢のオーク材を用いた、総重量 11 トンの“工芸品”ともいえる新しいパイプオルガンです。

日本の音楽大学やコンサートホールでは、さまざまな時代の音楽を演奏する必要から、一般に“マルチタイプ”の大型オルガンが重宝されています。しかし、明治学院にはチャペルでの礼拝、式典、演奏会に必要なオルガンという明確な目的があり、それを達成するための製作者を探した結果、出会ったのが、“失われた歴史的工法”で著名なファン・エーケン氏だったのです。

自称「歴史的オルガンを作る」ビルダーはいても、音色の決め手となるパイプの材質や製法、またパイプに魂を吹き込む整音を、17～18 世紀の名工がどう行ったか解明されてはいませんでした。ところが 20 世紀末、ヨーテボリ大学(スウェーデン)のヨーテボリ・オルガン・アートセンターは、隣接する工業大学と提携して歴史的オルガン工法を探求するプロジェクトを推進し、当時の製法や整音方法等について膨大な成果をあげました。

ファン・エーケン氏は、このプロジェクトの中心的メンバーとして、“失われた歴史的工法”をよみがえらせ、ヨーテボリ市郊外に北ドイツ様式のオルガンを完成させた実績を持っています。明治学院チャペルの新オルガンもまた、ファン・エーケン氏により、100%プロジェクトの成果を活かして製作されました。

明治学院ではオルガンの更新にあわせて、チャペルの復原・耐震工事を実施。手作りかつデリケートな整音作業を伴うオルガンであるため、納期が予定より 2 年近く遅れましたが、2009 年 10 月 24 日、オルガンを待ち望んだ寄付者の方々、学院関係者と共にオルガン奉獻式を執り行うことができました。しかし、パイプオルガンは設置がそのまま完成というわけではなく、演奏の機会を重ねながらの調整が続けられてきております。

●ジャック・ファン・オールトメルセン氏紹介 (Jacques van Oortmerssen)

弱冠 29 歳でアムステルダム音楽院教授に就任したオールトメルセン氏は、オルガンの歴史と構造の深い知識に裏打ちされた気品ある演奏が常に高く評価され、とくに J. S. バッハのオルガン全作品をヨーロッパ各地の歴史的オルガンを用いて録音した『バッハ・オルガン作品集』は現在 9 巻までリリースされ好評を博しています。

氏はまた、欧米各地の大学(ヨーテボリ大学、ヘルシンキ大学、イーストマン音楽院、オックスフォード大学等)でも後進の指導にあたり、オルガンの教育者として名高い上、オルガン構造の専門家としてヨーロッパ各地でオルガン製作のコンサルタントの役を担ってきました。明治学院の新オルガンについてもコンサルタントとして製作、整音の全てのプロセスに関わり、この歴史的なオルガンを生み出すのに大きく寄与しました。

お問い合わせは…

明治学院大学 広報室 担当: 圓道、石井

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>

明治学院大学広報室行 (Fax: 03-5421-5185) (E-Mail: koho@mguad.meijigakuin.ac.jp)

明治学院チャペル 日本初“失われた歴史的工法”によるオルガン完成 オールトメルセン オルガン演奏会申込書

お名前 _____

貴社名 _____

部署名 _____

お電話番号 _____

メールアドレス _____

※コンサート後、取材のご希望等がございましたら、ご記入ください。

※3月17日(水)までにお送りくださいますようお願いいたします。